

公益社団法人 大阪府柔道整復師会
令和7年度 大阪柔整少年少女柔道大会(小学生の部)
実 施 要 項

- | | |
|---------|---|
| 1、主 旨 | 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、
柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に期することを目的とする。 |
| 2、主 催 | 公益社団法人 大阪府柔道整復師会 |
| 3、後 援 | 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市・大阪市教育委員会、NHK大阪放送局
大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、大阪府柔道整復師協同組合 |
| 4、大会日時 | 令和7年7月20日(日) 9時開会(受付8時～) |
| 5、大会会場 | 大阪柔整会館 5階柔道場 |
| 6、参加資格 | 大阪府内在住、在籍の団体に所属する小学生で団体戦は自由参加とする。
但し、他の団体との混合したチームの参加は認めない。
個人戦は「日整全国少年柔道大会」大阪予選会を兼ねるため下記に留意する事。
① 前年度大阪予選のベスト4の選手。
② (公社)大阪府柔道整復師会(豊能、河南、堺)の柔道大会でベスト4以上の成績をおさめた選手。
③ ②とは別に小学生(4、5、6年)で各学年2名まで参加できる。
(監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。) |
| 7、試 合 | ① 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。
② 個人戦において、「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「指導差2」以上とし、「指導差1」または同等な場合は僅差(旗判定)をもって勝敗を決する。
団体戦において、「指導差1」は引き分けとし、勝敗は勝数により決し、同等の場合は内容によって決する。内容も同じ場合は引き分けの選手から抽選による代表戦を行い、僅差をもって必ず勝敗を決する。
③ 試合はトーナメント方式とする。
④ 試合時間は2分間とする。
但し、準決勝、決勝戦(個人戦)、決勝戦(団体戦)においてはロスタイム有りとする。
⑤ 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。
⑥ その他不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。 |
| 8、選手構成 | 個人戦の部:監督、コーチ各1名 6の参加資格を有する選手
団体戦の部:監督1名 選手4・3・3・2・2年生(学年順・軽量から順番に先鋒より配列のこと)。
① 1団体につき1チームまでの出場を認める。
② 団体戦は下位学年が上位学年に出場する事を認める。但し上位1学年までとする。
③ 個人戦と団体戦を同時に出場はできない。
④ 監督の重複は認める。 |
| 9、表 彰 | 個人戦: 優勝、準優勝、3位には賞状等を授与する。
団体戦: 優勝、準優勝、3位には賞状等を授与する。 |
| 10、参加費 | 500円/各一人 |
| 11、備 考 | ① 参加選手は必ず保護者の承諾を得ること。
② 本大会における負傷等については応急処置の他、主催者は一切その責を負わない。
③ 大会当日、体調不良の者は出場しないこと。
④ 選手の変更は開始30分前で締切る。
⑤ 審判、監督会議を8時30分より行う。 |
| 12、申込期限 | 令和7年6月27日(金) |
| 13、申込方法 | 本会ホームページ(URL: https://www.osaka-jyusei.or.jp/)にアクセスして必要事項を記入の上、
主催者までE-mail(jyudou@osaka-jyusei.or.jp)にてお申込み下さい。 |
| ＜特記事項＞ | 小学生個人の部優勝者及び準優勝者(4年生は優勝者のみ)5名は大阪代表チームとして、
11月16日(日)開催予定の「日整全国少年柔道大会」に出場できる。 |
| ＜注意事項＞ | ・大会1ヶ月前以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
・大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
・監督・コーチの服装は審判員に準じた服装でお願いいたします。
・駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。
・会場内では、換気やこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施して下さい。
また、当日体調がすぐれない人(発熱、咳、倦怠感等の症状など)は参加をお控えください。 |